

おいしい野菜が育つ宝の畑

秩父市立大田小学校五年 木本 大貴

ぼくの住んでいる太田は田畑がたくさんあります。登下校の時に稲や野菜、花が育つ様子を見るのが楽しみです。

ぼくの家の周りには、ばあちゃん畑があって季節に合った野菜を育てています。ぼくは、野菜の中でも夏野菜が大好きです。とれたての野菜はとてもおいしいです。半分に切ったきゅうりに塩をすりこんで食べる塩きゅう

りは、ぼくが一番好きな食べ物です。夏になるとお母さんがよく作ってくれるオクラのスープもネバネバがおいしくて何回もおかわりするぼくの好物です。ばあちゃんの畑には家族の好きな食べ物がたくさん作ってあります。特に夏は色々な野菜が家の畑で収穫できて、お母さんがおいしく料理してくれます。五年生になって家庭科の授業が始まり、今までよりお母さんの料理のお手伝いをするようになった。むずかしい料理はまだ作る

ことができないけど、切ったり、ゆでたり、焼いたり、いためたりすることはできるので休みの日のごはんは自分で用意します。

夏休みになってオクラがたくさん収穫できたので、お母さんがいっつも作ってくれるオクラと卵のスープを自分で作ってみようと思いましたが。オクラの黄色い花は一日で散ってしまいました。オクラの後すぐに実をつけます。花が咲いてから一週間くらいで収穫できます。大きすぎず小さすぎないオクラを見つけるの

はとても楽しいです。オクラは自分の体を守るために実の回りにフサフサした毛がついています。オクラは切ると星の形になっています。ネバネバしているところがぼくは好きです。

お母さんに教えてもらいながらスープを作ってみたら、熱かったけど想像していたよりも簡単にできてうれしかったです。家族みんなが、おいしいと言って食べてくれて、おかわりもみんながしてくれましたので、作ったオクラスープはすぐに売り切れました。作り方も

覚えたので、また作りたいです。まだまだ夏野菜はたくさん採れるので、収穫のお手伝いをしたり、お母さんが作る色々な料理のお手伝いもしながら作り方を覚えたいです。

ばあちゃんさんの夏の畑には十五種類ぐらいのおいしい野菜が作ってあります。かうしてばあちゃんはおいしい野菜を作ることかできるのかなと思いましたが。ばあちゃんは、ぼくが庭でサッカーの練習をしている時や学校に行く時、帰ってくる時によく畑で作業しています。草むしりをしたり、支柱を立てたり、さくきりやさくあげをしたり、虫を捕ったり、手をかけて時間をかけて野菜を育ててくれて、いるおかげでおいしい野菜ができるんだなと思います。ばあちゃんは、っいつもうまく育つわけじゃなくて、上手く育たない時もあるよ。でも、その時はどうして上手いかなかったのかなと考え、人に聞いたり、本を読んだり、次に作る時に気をつけるようにしているよ」と話してくれました。いつもおいしい

い野菜を作ってくれるばあちゃんでも失敗することもあるのだなと思いました。でも、次に作る時は気をつけていることを知り、勉強やサツカーと一緒にだなと思いました。

畑にばあちゃんが居ると、育てている野菜を見たり、手入れや収穫のお手伝いをするとはあちゃん喜んでくれます。これからもおいしい野菜が収穫できるようにお手伝いをし、ばあちゃんがやっていることを覚えて、ほくも大きくなったら畑でおいしい野菜を育てられる人になりたいです。